

I 令和2年度 事業報告

社会福祉法人会津療育会の理念、施設運営の指針、令和2年度短期事業計画に基づき、取り組むべき目標を実現すべく、アガッセ事業推進委員会を中心に各委員会、係、各部署が一体となり、事業を推進してまいりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アガッセの入所者の方々には、日常生活、社会生活に大きな制限を受け、外出の自粛、面会の制限、行事の規模縮小や中止など、当初計画したものが実現できませんでした。また、外部との交流の要でもある、ボランティア活動はもとより、他法人との連携、関係施設、団体等との会議や研修会等の中止も続き、多方面において多大な影響がありました。

在宅支援でもある短期入所事業、通所生活介護事業においては、緊急の対策やその後の感染拡大状況にあわせ、利用の制限をせざるを得ませんでした。その後様々な感染症対策を講じることにより、ご家族にも協力を仰ぎながら事業の継続を進めてまいりました。

施設入所支援事業においては、外部事業所利用や外出の自粛、外泊や面会の制限等含め、外部との接触を制限することを感染症対策の要とし、多くの面で日常生活や社会生活における制限がされました。他方、職員による日中活動支援や行事の実施については、常に感染症対策を意識して実施方法の見直しを進めながら、より良い方法を模索し、少しでも楽しめるよう、ストレスを解消できるよう検討し事業を推進してまいりました。

1. 法人組織の安定した運営と地域貢献事業の推進

人事考課制度の具体的なかつ円滑な実施により、定着を図ってまいりました。また、施設環境の整備としてナースコールの入替、監視カメラの設置工事を行うとともに、災害対策としてアガッセ防災計画に基づき水害を想定した避難所への避難誘導訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策について、定期的に会議を行い、感染状況等を踏まえた感染症対策を講じてきました。施設外との接触が制限される中、施設内における可能な限りの対応を検討してまいりました。

2. 在宅支援サービス事業の強化

通所生活介護事業、短期入所事業については、要望やご意見を伺う機会として継続してきた家族懇談会は実施できませんでした。通所生活介護事業では新型コロナウイルス陽性利用者の発生による休業のほか、短期入所事業も含め利用制限を余儀なくされ、ご利用の方々に大変なご迷惑をおかけすることとなりました。感染状況を見ながら随時対策の見直しを進め、可能な限り安定的な運営に努めたところです。そのような中であっても、通所生活介護では利用者主催行事の企画などを通して、主体的な活動の提供を進めてまいりました。

相談支援事業については、基幹相談支援センターとして定期的に行ってきた事例検討会は当初、中止となっていました。感染症対策を徹底して実施し、相談支援専門員や障がい福祉従事者の支援技術の向上を図ってきました。また、計画相談事業についてはモニタリング頻度の把握と年間の実施計画を立て、実施状況を随時確認しながら進めるよう努めてまいりましたが、コロナ禍における影響もあり、安定的な実施が難しい状況でした。

3. 入所者の生活圏の拡大と生活の質の向上

コロナ禍における影響のため、様々な活動の制限が余儀なくされました。その中で、民間の介護タクシーやヘルパーを利用した個人外出や近隣のコンビニエンスストアへの買い物などを実施したり、区ごとの日中活動、規模を縮小して内部のみでの行事など、感染症対策を講じて可能な限り実施しました。また、食事については温冷配膳車を1台導入し、希望する利用者へ適温の食事提供ができるようになりました。